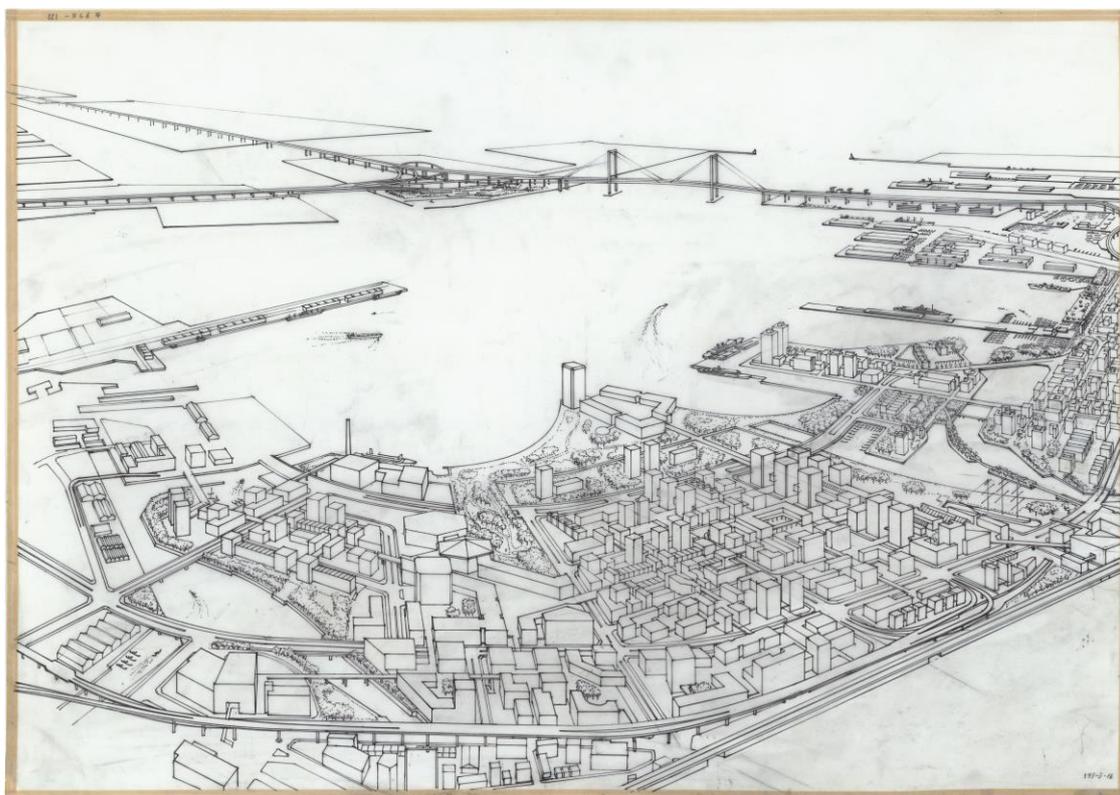


平成29年度 横浜都市発展記念館 企画展

ウォーターフロント・シティ横浜

## みなとみらいの誕生



都心臨海部イメージスケッチ（1980年頃） 文化庁国立近現代建築資料館所蔵

昭和40（1965）年、横浜市はあらたな都市づくりの構想として「六大事業」を発表しました。その筆頭に挙げられていたのが都心部強化事業です。これは開港以来の都心部であった関内地区と、戦後急速に発達した横浜駅周辺地区とを、その中間に位置する臨海部の再開発によって一体化しようとするもので、この構想をきっかけに「みなとみらい21」と呼ばれる都心臨海部の整備事業が始まります。

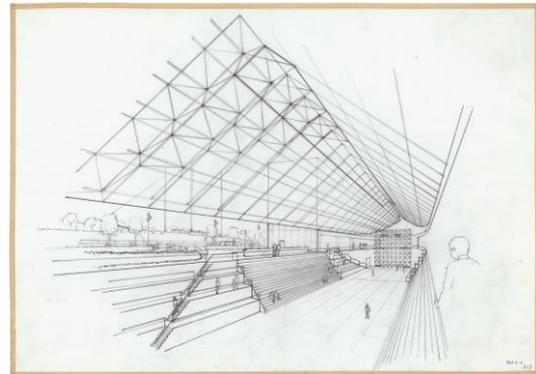
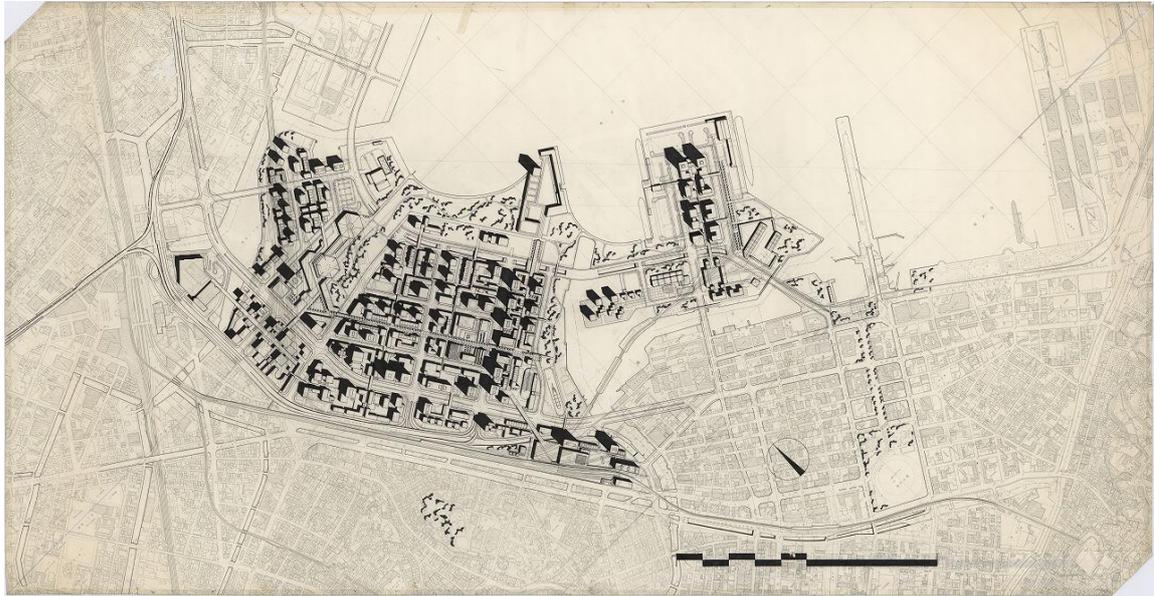
現在は多くの観光客でにぎわうみなとみらいは、かつては造船所や貨物ヤードからなる工業・物流の拠点でした。明治時代には築港計画の一端として横浜船渠（ドック）が設立され、大正時代には新港ふ頭の完成にともない臨港貨物線が整備されます。また関東大震災後には山内ふ頭・高島ふ頭が増設され、この境界は横浜港とともに拡張を続けてきました。都心部強化事業は、これらの施設を移転させて、跡地にあらたな都市をつくりだそうというものでした。

構想から50年がすぎた現在も、みなとみらいは発展を続けています。本展示では、明治の横浜ドック設立から平成の横浜ランドマークタワー建設まで、みなとみらいの誕生にいたるウォーターフロントの変遷をたどります。

## 1. 【見どころ】

### ◆未来の都市をデザインする

造船所や貨物ヤードの跡地にどのような新しい都市をつくるのか。みなとみらい 21 事業がスタートするまでに、さまざまな構想が検討されてきました。展示では、昭和 56 (1981) 年に横浜市が発表した基本構想図の原図 (91.4cm×175.8cm、作成：大高正人建築事務所) を紹介します。また検討段階でのさまざまな図やイメージスケッチを初公開します。



(上) 基本構想図 (下左) 検討図 (下右) 石造ドック活用イメージスケッチ

昭和 55 (1980) 年頃 文化庁国立近現代建築資料館所蔵・大高正人資料

### ◆造船所の賑わいをふりかえる

みなとみらいの中心部には、かつて三菱重工業の横浜造船所が位置していました。明治時代に横浜船渠 (ドック) として設立されて以来、横浜の一大工場として発展してきた同所の歴史を、さまざまな資料から紹介します。



(左) 横浜船渠造船台 昭和 4 (1929) 年 (右) 大杉丸進水式 昭和 21 (1946) 年

(左) 横浜市史資料室所蔵 (右) 三菱重工業 (株) 横浜製作所所蔵

### ◆未来の都市を見据えた博覧会

平成元（1989）年に市政 100 周年・開港 130 周年の記念事業として開催された「横浜博覧会 YES'89」は、みなとみらいを会場とした一大イベントでした。来たるべき 21 世紀をテーマに開催された博覧会から、なつかしの会場風景を振りかえります。



(左) 予告ポスター (中) 会場全景 (右) コンパニオン制服 横浜市史資料室所蔵

## 2．開催期間等

- 【開催期間】 平成 29 年 10 月 7 日（土）～平成 30 年 1 月 8 日（月・祝）
- 【主催】 横浜都市発展記念館
- 【共催】 横浜市教育委員会
- 【協力】 横浜市史資料室
- 【後援】 朝日新聞横浜総局／神奈川新聞社／東京新聞横浜支局／日本経済新聞社横浜支局／  
毎日新聞横浜支局／読売新聞横浜支局／NHK 横浜放送局／TVK
- 【会場】 横浜都市発展記念館 3 階企画展示室
- 【開館時間】 午前 9 時 30 分～午後 5 時（券売は閉館の 30 分前まで）  
※11/3（金・祝）、12/23（土・祝）、1/8（月・祝）は午後 7 時まで開館いたします。
- 【休館日】 毎週月曜日、年末年始（12/28～1/3）  
※ただし 10/9（月・祝）、1/8（月・祝）は開館し、10/10（火）は休館します。
- 【観覧料】 一般 300 円、小・中学生 150 円

## 3．展示構成

プロローグ ～みなとみらい原風景～

I ドックと貨物の時代 ―みなとみらい前史―

- (1) 横浜船渠の設立 (2) 税関拡張工事と貨物線 (3) 震災後の港湾整備と横浜船渠  
(4) 造船業の戦後復興

II ウォーターフロントへのまなざし

- (1) 飛鳥田市長と六大事業 (2) 基本構想の検討

III みなとみらい 21 の始動

- (1) 「みなとみらい 21」着工へ (2) 横浜博覧会 YES'89 (3) 水と緑と歴史に囲まれた都市

## 4. 関連イベント

### (1) 展示解説 展示担当者が見どころを解説します！

10月14日(土)14時～、11月3日(金・祝)17時～、12月23日(土・祝)17時～、1月6日(土)14時～(30分程度)、参加費無料(観覧券が必要です)

### (2) 講演会【全2回】 みなとみらいの整備に直接携わったお二人の方から、みなとみらいの誕生秘話をうかがいます。

第1回 11月23日(木・祝)「みなとみらいの都市デザイン」

講師：国吉直行(横浜市立大学 特別契約教授／元・横浜市都市整備局上席調査役エグゼクティブアーバンデザイナー)

第2回 12月2日(土)「横浜ランドマークタワーとドックヤードガーデン」

講師：恵良隆二氏(横浜市芸術文化振興財団 常務理事／元・三菱地所株式会社)

各回14時00分～15時30分

【会場】横浜開港資料館 講堂(横浜市中区日本大通3)

【参加費】全2回で1,000円

【定員】各回80名(応募多数の場合は抽選)

【締切】11月6日(月)必着

### (3) 歴史クルーズ「海から見たみなとみらい」(ミニ講座つき)の開催 \*荒天中止

協力：京浜フェリーボート

【日時】①11月1日(水)10時～ ②11月1日(水)13時30分～ ③11月5日(日)13時30分～  
各回2時間程度

【集合】当館1階ギャラリー

【参加費】一般3,500円、小・中学生2,000円

【定員】各回20名(応募多数の場合は抽選)

【締め切り】10月20日(金)必着

### (4) ワークショップ「みなとみらい今昔」の開催

オリジナル絵葉書をつくろう！第二弾、変わり絵箱 ほか

毎週末・祝日に当館1階で開催。申し込み不要、参加費無料。



現在のみなとみらい21地区(2016年) 横浜市港湾局所蔵

### お問い合わせ先

横浜都市発展記念館

青木祐介(展示)、神谷量子(広報)

Tel 045-663-2424